

チャレンジセン

活動紹介
マガジン
TAKE FREE



学部・学科を
超えた挑戦。

Let's Challenge



いましかできない
ことに挑戦。



自分の可能性を広げよう！

いま、社会は、自分の手で未来を切り開くことができる能力を持った人材を必要としています。

チャレンジセンターでは、社会で活かせる力を身につけるために、学生自身が自由な発想で企画したプロジェクト活動を支援。

大学から一歩踏み出して、様々な人たちと協力しながら、困難を乗り越えて課題を解決する能力を磨いています。

大切な仲間と出会える。新しい可能性が広がる。社会で生きぬく力が身につく。

プロジェクト活動へのチャレンジで、あなたのキャンパスライフをさらに楽しく充実したものにしませんか。

社会で活かせる 4つの力を身につけよう！

チャレンジセンターでは、大学時代にしかできない様々な経験を通じて、社会に必要とされる4つの力を育みます。

自ら考える力

常に未来を見据え、
自らが取り組むべき課題を探求する力

学習力
思考力
探求力

集い力

多様な人々の力を集結する力

コミュニケーション力
関係構築力
アイデンティティの獲得

挑み力

困難かつ大きな課題に
勇気を持って挑戦する力

問題発見力
構想力
プランニング力

成し遂げ力

失敗や挫折を乗り越えて
目標を実現していく力

工程管理力
実行と継続力
分析と修正力

未来の自分を
切り開こう！



4つの力を象徴する
キャラクター「リッキー」



復興を支える



熊本・阿蘇

阿蘇援農コミュニティプロジェクト

農業についての理解を深めるために農作業をお手伝いします



湘南、代々木、清水、熊本・阿蘇、札幌

熊本復興支援プロジェクト

日本に住むすべての人に熊本の被災地の現状を知って欲しい



熊本・阿蘇、湘南

阿蘇は箱舟プロジェクト

希少な動植物が棲んでいる阿蘇の自然を守ります



地域を活性化



湘南

キャンパスストリートプロジェクト

大学周辺地域の住民と学生の円滑なコミュニケーションを図ります



高輪

Takanawa 共育プロジェクト

地域貢献を通じて大学と地域を一体化します



札幌

札幌ボランティアプロジェクト

除雪ボランティアを中心に幅広い分野のボランティアで地域に貢献します



熊本・阿蘇

熊本地域プロデュースプロジェクト

みんなで地域を盛り上げ魅力を発信します



湘南

3.11生活復興支援プロジェクト

被災地の復興段階に合った支援を考えます



熊本・阿蘇

あにまるれすきゅープロジェクト

殺処分される犬や猫を少しでも減らしたい



ものづくりを極める



湘南

ライトパワープロジェクト

ソーラーカー・人力飛行機・電気自動車のものづくりの楽しさを伝えたい



湘南

Tokai Formula Club

自作レーシングカーで全日本学生フォーミュラ大会総合優勝を目指します!



熊本・阿蘇

メカトロマイスタープロジェクト

ソーラーカーレース、レスキューロボットコンテストに上位入賞したい



湘南

東海大学学生ロケットプロジェクト

より効率的なロケット開発のための組織づくりをします



熊本・阿蘇

先端技術コミュニティACOT

目標はETロボコンで優勝! VRなどの先端技術を社会貢献に繋げます



挑戦しよう! プロジェクトにチャレンジ

チャレンジプロジェクトは、学生が提案する企画に、学部・学科・学年・キャンパスの枠を超えた50名以上(湘南以外は30名以上)の仲間を集め、1年を通して活動するものです。復興支援からものづくり、地域活性化まで、社会に貢献することを目的に多くの分野で活躍中。教室の中では体験できない感動や刺激を、仲間と一緒に分かち合いませんか。

多様な文化と交流する



湘南

Tokai International Communication Club

国や文化、個人などの違いを知り実感してもらった人数のべ約400人。さらに増やしていきたい



湘南

Beijo Me Liga

外国籍の子どもたちと地域の人が触れ合う場をつくりたい!



伊勢原

Challenge for the Borderless World

様々な壁を越えて市民が自然と集まるための架け橋となります



社会に貢献する



湘南

DAN DAN DANCE & SPORTSプロジェクト

身体表現パフォーマンスの公演をつくりあげます!



湘南

病院ボランティアプロジェクト

病棟活動でのボランティアスキルを高め、患者さんと接したい



湘南

スポーツ社会貢献プロジェクト

スポーツによる「繋がり」を社会に広げます



熊本・阿蘇 阿蘇援農コミュニティープロジェクト



農学部 応用植物科学科 3年 藤川 志津香さん

阿蘇の農業の現状と未来を考える。人手不足に悩む農家さんの作業負担を減らすことを柱に、阿蘇地域へ伺いお手伝いと交流から農業の技術や知識を体得しています。さらに農業の現状問題について考え、情報を発信。昨年は熊本地震の影響を受けたものの、例年通りの活動を目指しました。大学の講義と実習の両面から理解を深めたり、初めてのことにチャレンジしたり、普段の大学生活にはない経験と一生の出会いがあります。



▲阿蘇地域の農家で短期援農を実施



▲阿蘇郡西原村 アスパラガスの整枝(剪定)



▲阿蘇郡西原村でサツマイモの収穫

復興を支える

熊本地震や東日本大震災の被災地において、自発的・継続的な復興支援を行っています。



湘南、代々木、清水、熊本・阿蘇、札幌 熊本復興支援プロジェクト



▲被災した農家のビニールハウス設営

被災者の声を届けたい。

熊本の「いま」を発信するため、昨年度末から仮設住宅に住む方々と文通する「寄り添う文通」という企画を始め、被災者の生の声を聞いています。熊本地震から早一年。しかし復興にはまだまだ時間がかかるのが現状です。湘南キャンパスに通う私は年に数回しか熊本には行けませんが、それでもできることはあります。復興支援に携わることで、自らを成長させることができるプロジェクトです。



文学部 心理・社会学科 4年 津田 哲平さん



4月16日に発生した熊本地震。有事に対し学生の力で多様な復興支援に取り組んでいます。

熊本・阿蘇 あにまるれすきゅープロジェクト



農学部 応用動物科学科 3年 今井 裕之さん

保護犬・猫を減らすために。殺処分される犬や猫についての知識・情報を共有する勉強会を開催し、そこで学んだことを子どもたちに伝えています。また、動物病院や動物愛護センターに訪問して現状の把握を行ったり、ボランティアとして参加し、動物たちと触れ合うことで命の大切さを再確認しています。地域イベントや譲渡会にも参加。熊本地震で被災したペットたちのケアにも積極的に努めています。



▲幼稚園にて命の大切さを伝える出前授業

熊本・阿蘇、湘南 阿蘇は箱舟プロジェクト

阿蘇の素晴らしい自然を次世代に残すために。

広大な草原がある阿蘇地域では、この土地ならではの独特の生態系が形成されてきました。しかし近年では阿蘇に棲む動植物が絶滅の危機にさらされています。また、震災による生態系への影響も心配されます。私たちは、野生動植物の絶滅を防ぐために生息場所の保全活動を行っています。今後、動植物のデータ化や阿蘇地域での作業の手伝いなども考えています。



▲生態系を脅かす外来植物を除草

農学研究科 農学専攻 1年 井手 脩人さん



湘南 3.11生活復興支援プロジェクト

復興は終わっていない。

毎月の調査や長期休みに、活動拠点のある宮城県と岩手県に行き、住民の方と共にその町の復興について考え、それぞれの地域に合った復興のサポートをしています。また、関東では被災地の現状を伝える活動なども行っています。東日本大震災から6年が経ちましたが、いまでも被災地のためにできることはたくさんあります。これからも被災地の復興のために、住民の方と共に活動していきたいと考えています。



▲岩手県大船渡市泊地区「結の道・第一期開通式」での記念撮影



政治経済学部 経営学科 2年 杉山 愛さん

岩手県大船渡市泊地区 応急公民館完成の記念撮影。被災直後から活動を開始し、2011年5月に完成しました。





ものつくりを極める

自由な発想で、優れた“もの”をつくり上げます。

湘南 ライトパワープロジェクト



▲富士川滑空場でのテストフライト

当プロジェクトの最大の魅力は設計から製作、組織の運営まで全てを学生が主体となって行い、世界大会や日本一に挑戦できることです。学生生活で大きな挑戦をした人、ものつくりをした人、広報やチームマネジメントなどを学びたい人など、少しでも興味のある方はぜひライトパワープロジェクトへ!

工学部 機械工学科 3年
佐藤 喜昭さん

世界最高基準のものづくりに挑戦し 社会に貢献する

ソーラーカー、電気自動車、人力飛行機の3つのチームに分かれています。各チームは学生自らが設計・製作した車体・機体で大会に出場し、優勝を目指して活動しています。また、大学周辺の小学生を対象にエコロジーやものつくりの楽しさを伝える社会貢献活動を展開しています。



地域の子どもたちが参加する「ものづくり教室」▶

熊本・阿蘇 先端技術コミュニティACOT

ソフト・ハードウェアやネットワークなどの分野に力を入れています。ロボコンや勉強会に参加することでスキルアップができ、また、地域の方々へロボット技術の講習会などのイベントを通してコミュニケーション力も向上します。これらにチャレンジしたい方は一緒に活動しよう!

基盤工学部 電気電子情報工学科 3年
宮崎 晃弥さん



▲小学校でのロボットプログラミング教室

社会で求められる技術力と コミュニケーションスキルで挑む

ETロボコンに参加して技術の向上を図ると共に、VR・ドローンなどの先端技術を身につけ、それらを用いて地域社会に貢献する活動を行っています。また、県内の小中高生へロボット技術の講習会やものづくりイベント活動も行っています。

▲ETロボコン2016 九州北地区大会で準優勝

湘南 Tokai Formula Club

優れたマシンを製作し、 チーム力で優勝を目指す

全日本学生フォーミュラ大会総合優勝を目指して日々活動しています。大会で総合優勝を狙うことができるマシンを完成させるために全てのメンバーが部品の設計、製作、性能試験、改良というものつくりのプロセスを経験します。さらに企業の方と関わる際に必須となるビジネスマナーや社会常識を身につけ、メンバー全員が社会に出て即戦力になれる人材へと成長することを目指します。

自動車や機械に詳しくない人でも半年後には上級生と車両やチーム運営について広い視野を持って議論ができる人材へと成長できる活動です。ぜひ一度、ものづくり館の1階にある私たちの活動場所に足を運んでみてください。

工学部 動力機械工学科 3年
麻 亮太さん



ガソリン エンジン

▲第14回 全日本学生フォーミュラ大会に出場



▲北海道大樹町でのハイブリッドロケット 打ち上げ実験

湘南 東海大学学生ロケットプロジェクト

包括的なロケットシステムの設計・開発の実現



ハイブリッド ロケットエンジン

▲秋田県能代市での打ち上げ実験

液体の酸化剤と固体の燃料を用いるハイブリッドロケットエンジン、ボディ、電子機器に至るまで学生が研究開発を行っています。ロケットの高高度化に向けて、高度10kmに到達するロケットを開発中です。

エンジニアとしての経験を得るだけでなく、広報活動や他大学の学生ロケット団体との交流を通して大学生活を普通に過ごすだけでは決して得られない経験ができます。私たちと一緒に宇宙を目指しましょう。

工学部 航空宇宙学科航空宇宙専攻 4年
中嶋 大介さん



熊本・阿蘇 メカトロマイスタープロジェクト

新マシンの改良を通してチームマネジメントを培う

ソーラーカーチームは全長4.5mもあるソーラーカーを1から学生の手で製作。今年は秋田で行われるワールドソーラーカーラリーへ参加します。ロボットチームは1/6サイズの災害現場を模したフィールドで救助活動を行うロボットコンテストに向け、ロボットを製作しています。

ものづくりに興味があれば、文系・理系を問いません。例えば経営学部であれば会計の仕事を担当することで実践的なスキルを身につけることができます。貴方の「したい」を形にしてみませんか?

基盤工学部 電気電子情報工学科 3年
堀 青蓮さん

鈴鹿5時間耐久レース▶



地域を活性化する

大学と地域の関係を、より身近にするための活動を行っています。

湘南 キャンパスストリートプロジェクト(C.A.P.)

地域の方々と協働してつながりを構築する

地域の方々と学生が交流を深めることを目的に、夏には大学内で特設ステージを設け、音楽イベントや近隣の飲食店が出店する「TOKAI音食WEEK」を行ったり、冬には東海大学前駅駅前広場にクリスマスツリーを自分たちでたてて「クリスマスU-night」というイベントを開催しています。近隣の幼稚園への訪問活動、障害者自立支援を目的とした様々な活動も行っています！いろいろな世代の人の交流からこの街を知るきっかけの場が生まれることを目指して日々活動しこの街の魅力を発信しています。



地域の方々と学生約50名が集まり、イルミネーションを施したツリーの点灯式を行いました。

東海大学駅前商店会協同組合の方々と花壇の花の植え替えを実施しました。



法学部 法律学科 3年 関口 雄哉さん

幼稚園で、手づくりの紙芝居を披露。約40名の園児たちに秦野市の魅力を伝えました。

C.A.P.プレゼント食と音楽のフェス、「TOKAI音食WEEK」今年も開催しました！

高輪 Takanawa共育プロジェクト

大学と地域の一体化、地域貢献から連携を学ぶ



高輪地域活性化のために、大学周辺の商店街を中心に活動を行っています。お祭りの運営や手伝い、神輿担ぎへの参加や企画、イルミネーション企画の運営など様々なイベントによって地域を盛り上げています。大変なことも多いですが、普通ではできない経験や楽しさがあります。



情報通信学部 経営システム工学科 3年 崎山 奨さん

浅草三社祭では、本社みこし「三ノ宮」を担いで練り歩きました。

熊本・阿蘇 熊本地域プロデュースプロジェクト

地域の魅力を再発見できるイベントを企画・運営

活動内容は主に企画と編集の二つ。企画は、地域の魅力を活かしたイベントの企画・実施です。編集は地域の魅力をフリーペーパーや魅力マップなどで発信します。イベントは年4回、編集媒体は年に2回を予定して活動しています。みんなで熊本を盛り上げていきましょう！



経営学部 観光ビジネス学科 3年 高橋 一央さん



里山の春を楽しもう！東海大学生バスツアー！竹林ピクニック



札幌 札幌ボランティアプロジェクト

除雪作業のボランティア活動を中心に地域に貢献する



大学近辺に住む自力で除雪が困難な世帯の除雪ボランティアをメインに活動しています。除雪はとても大変ですが、大人数で分担して作業するため、男女問わず全員で助け合って活動しています。また雪のない時期には子どもから高齢者まで幅広い年齢層とかかわりながら、祭りの運営補助や除草活動といった地域に密着した活動をしています。



国際文化学部 国際コミュニケーション学科 3年 藤盛 将仁さん

記録的な大雪の中でも、授業の合間などを利用して除雪活動を行っています。



多様な文化と交流する

様々な機会を設けて様々な人との交流を深め、お互いが理解し合う社会を目指します。



▲本学留学生と日本人の学生とのスポーツ交流イベント



▲途上国の社会問題に関するブレインストーミング



▲ブラジル人学校と合同の「コラソンキャンプ」



▲循環型社会を目指すNGO訪問



▲「マルチカルチャーキャンプ」

湘南 Tokai International Communication Club

理解し合うための第一歩は
“互いを知る”こと

本学の留学生や大学周辺地域に住む外国につながるの方々を対象として活動を行っています。世界中に暮らす全ての人がお互いのことを理解し合い支え合えるようになれば、どんな問題も一緒に解決することができるかと私たちは考えます。

外国につながるの方々を持つ、言葉や文化の違いなどの問題に対して、「学習支援」「異文化理解」「国際交流」の3本の柱で活動を行い、多文化共生を意識する社会づくりを目的として活動しています。



▲外国につながる子どもたちへの学習支援



▲留学生とともに「新春もちつき大会」

国際交流や学習支援に興味がある方、新しいことを始めてみたい方へ。上手いかわからないかもしれませんが、その分企画が完成した時に感じる達成感はとても大きいですよ。

文学部 英語文化コミュニケーション学科 2年
寺脇 あずさん



伊勢原 Challenge for the Borderless World

国境、マイノリティ、世代、農業、教育、医療といった枠組みを越えた social capital(人のつながり)の創生

つながりの形成を通して、「地域の健康度を上げる」「学び合いの場となる」「循環型社会について考える」ことを目指します。長野県や徳島県などの地域活性における先進的な取り組みを参考に、伊勢原市の公民館、子ども食堂、農家、お寺、NGOなどに訪問し、既存の取り組みから学びながら、市民が集う場を提供します。

国内外の地域に出ると、大学生生活をしているだけでは得られない貴重な学びがたくさんあります。世界に飛び出し、地球で起きていることについて地域の方とともに考えてみませんか？

医学部 医学科 6年
藤田 耕己さん



湘南 Beijo Me Liga

外国籍の子どもたちと地域の人々が
触れ合う場をつくる

日本に住むブラジルをはじめとする外国籍の子どもを対象に活動しています。彼らは母国と異なる文化や言語で日本の生活に馴染めていないのが現状です。外国籍にとらわれず“ひとりの人間”として互いがつながれたらと考え、交流の場を設ける活動をしています。また、毎年夏に、複数のブラジル人学校と当プロジェクトメンバーの異文化交流を目的とした合同キャンプを行っています。

「言葉が分からないから」「人見知りだから」なんて心配はいりません！外国籍を持つ子供たちとの交流や異文化から、多くの発見を分かち合えます。

教養学部 国際学科 2年
澤口 紫乃さん



社会に貢献する

地域に根ざした、継続的な活動に取り組んでいます。

湘南 DAN DAN DANCE & SPORTSプロジェクト



▲第6回公演フィナーレ

身体表現で多くの人と交流し、表現する楽しさを知る

身体表現を通して「する(踊る)」「観る」「支える」のそれぞれの人たちが協力して身体表現やスポーツの魅力を地域・社会に発信。また、公演やワークショップの開催を通して他団体や地域とのつながりを形成しています。

身体をつかって表現することが大好きな人、イベントの企画・運営をやってみたい人、卒業までに大きなことをやり遂げたい人たちが集まって活動を行っています。

裏方だけではなく自分も舞台上で踊りたいという方も大歓迎!!!
ぜひあなたも、私たちと一緒に素晴らしいステージをつくりましょう!!!

体育学部 生涯スポーツ学科 4年 横堀 美咲さん



▲ユウコープでのワークショップ



▲ヨゴワークショップ



▲いつもの掛け声でメンバーの気持ちを一つに

湘南 病院ボランティアプロジェクト

ボランティアに必要な知識を学び、病院と社会のかけ橋に

本学医学部付属病院で病棟ボランティア活動をしています。具体的には、患者さんの身の回りのお世話や、患者さんに季節感をお届けする院内コンサートの開催、地域の人々を対象にした医療セミナー、子どもたちに健康・病気の大事さを伝える絵本制作と読み聞かせを行っています。患者さんだけでなく子どもと接する機会も多く、活動を通して様々なスキルを身につけられ、自身の成長を実感できます。

ご年配の方から子どもまで幅広い年代の方を対象に、いろいろな学部学科のメンバーが集まって、病院関係者と一緒に活動しています。あなたもみんなで力を合わせてボランティアをしてみませんか。

工学部 精密工学科 3年 佐藤 主樹さん



▲本学医学部付属病院での病棟活動

湘南 スポーツ社会貢献プロジェクト

スポーツの社会的役割を果たす

地域の方々を対象に、公民館より依頼を受けて、「ノルディックウォーキング教室」やキャンパスに小学生を招いて、「東海スポーツDAY」といったスポーツイベントを開催しています。対象の年代は幅広く、参加者のニーズに合わせた企画を考え、体を動かすことの楽しさを伝える活動を行っています。

自分たちも体を動かしながら、スポ社でしかできないことに、みんな一生懸命に取り組んでいます。私たちと一緒に熱くなれる人、スポ社でお待ちしています!

体育学部 スポーツ・レジャーマネジメント学科 3年 中嶋 亮太さん



▲「秦野子どもまつり」でのスポーツイベント



湘南 サイエンスコミュニケーター

理科離れを防ぎ、科学の楽しさを通して人と人とのつながりをつくる

科学の「楽しさ」や「面白さ」を、子どもたちに発信中。Face to Faceでのかわり合いを大切に子どもたちに伝えるようコミュニケーションを図りながら、科学に関する実験ショーや工作教室、科学体験イベントを実施しています。場所は科学館やショッピングモールなど多岐に渡っています。全体ミーティングを定期的に行うことで、チーム間の連携も深めています。

『子どもが好き!』その気持ちがあれば、人前に立つことが苦手でも、科学の知識が少なくても大丈夫。私たちと科学の魅力や不思議をどんどん発信していきましょう!

工学部 応用化学科 3年 小川 沙麗さん



▲「ベネッセin多摩センター」での真空実験教室

少人数でチャレンジする
ユニークプロジェクト

10名以上のグループによって構成する、ユニークな企画内容のプロジェクトです。

●湘南キャンパス

Egyptian Project

学内にある古代エジプト及び中近東コレクションの調査・記録・修復・保存を行う。

きらきら実験教室

子どもたちにもものづくりの楽しさを伝え、理科に対する興味・関心を引き出すための企画を実施する。

Connect☆

秦野市内の子どもや若者が、「人と人、人と社会とつながり、自分らしく生きていく」ことを支援する。

Sunflower☆

遊びを通してカンボジアの子どもたちと交流し、現地の初等教育の現状や必要物資の調査を行う。

Chapture The Flag in Tokai (CTFT) ☆

サイバー犯罪やサイバー攻撃の問題に対応するためのセキュリティー技術を習得し、高校生たちに普及させる。

Tokai Dream Space Team

高校生や大学生、社会人との連携で、挑戦と信頼性のバランスを重視したもののづくり体験イベントを開く。

東海魅力宅配便

大学生活での経験や学びを他学生へと発信・共有していくことで東海大学の魅力を知ってもらう。

ポリヘドロン工作隊

多面体工作を通して幾何学や数学、構造学に対する興味関心を引き出し、参加者の創造力を養う。

●代々木キャンパス

よよさんぼ

学生や地域住民の参加型イベントを企画・実施するとともに、代々木キャンパス周辺の魅力を発信していく。

●高輪キャンパス

ロボP

技術力向上を目指しつつ、楽しく情報通信技術を学んでもらえるようなイベントを開催する。

●清水キャンパス

NT (Near threatened) 回復プロジェクト

調査海域に生息するサンゴ群体の生息位置、サンゴ同士の位置関係、サイズ、種類確認などの調査を実施する。

商品開発プロジェクト☆

清水区が日本一の水揚げ量を誇るサクラエビやマグロ類を用いて地産地消・地域活性化につなげる。

三保活性化プロジェクト

三保半島を中心とした地域の人々と積極的に交流し、地域活性化に貢献する。

ワンダフル・マリンアニマルズ

海洋生物型ロボットを製作し、講演や出展を積極的に行うことで、海洋生物に対する興味を持ってもらう。

●清水、湘南キャンパス

気仙沼シャークプロジェクト

日本一の漁獲量を誇る気仙沼のサメに商品としての付加価値をつけ、気仙沼に暮らす人々の生活再建支援を検討する。

●熊本・阿蘇キャンパス

Action marketingプロジェクト☆

若者の視点に立ったマーケティングによる課題解決の課程で、東海大学の教育目標である4つの力を身につける。

阿蘇復興への道～未来へつなげ 東海大学生の希望～

阿蘇キャンパスと周辺の学生村のつながりを守るために、イベントや観光PR動画を作成し、地域活性化を促す。

動植物園プロジェクト☆

熊本市動植物園と大牟田市動物園で案内板の設置やボランティアガイドを行い、若者らを動物園に呼び戻す。

●札幌キャンパス

札幌ピオトープをつくる会

グラウンドへの融雪水の流出防止、エゾサンショウウオの産卵・孵化促進などのために、敷地内のピオトープを活用する。

地域連携プロジェクト

地域の方々と一緒に、地域交信カフェ「Three Café」の運営など、地域活性化のための活動を企画・実行する。

☆=新規プロジェクト



Egyptian Project



Tokai Dream Space Team



ポリヘドロン工作隊



よよさんぼ



三保活性化プロジェクト



ワンダフル・マリンアニマルズ



Action marketingプロジェクト



阿蘇復興への道

4つのサポートであなたの成長を全面的にサポートします!

プロジェクト支援

プロジェクトの質を高め、より大きな目標を成し遂げられるように、人・資金・施設など、様々な面で、きめ細かくプロジェクト活動をバックアップする体制を整えています。

サポート① 教職員からのサポート

■プロジェクトコーディネーター(職員) ■プロジェクトアドバイザー(教員)

プロジェクト全体の進行状況を把握し、活動全般の相談役や提出書類の作成指導を様々な部署の職員が行っています。また、予算管理・工程管理に関する指導や、活動が困難な状況の時に円滑に進むよう学生を元気づける「縁の下の力持ち」的な役割のほか、プロジェクトとチャレンジセンターおよび学内外の機関との連携・協力を図っています。

専門的知識または技能を持った教員を、学生からの要望によりプロジェクトに配置します。主な役割として、プロジェクト活動に対して専門的な立場から指導・助言を行います。プロジェクトの活動が、より質が高く大きなチャレンジとなるためには、プロジェクトアドバイザーの豊富な知識と経験に裏付けられた指導が必要です。



活動企画についてアドバイスをするコーディネーター

サポート② 支援金

支援金

企画の内容・規模・過去の実績などに応じて、プロジェクト実行に必要な支援金を提供。資金の面でも安心して活動に取り組むことができます。

チャレンジプロジェクト
支援金 上限 **200万円**

ユニークプロジェクト
支援金 上限 **50万円**

※特別申請により、企画に応じて最大1,000万円

サポート③ 活動スペース

活動スペース

ものづくり系の活動拠点として、直径33mの創造空間「ものづくり館」。大人数で利用できるミーティングルームも用意しています。



ミーティングスペース



ものづくり館



ものづくり館にて車体の工作

サポート④ 教育プログラム

社会的実践力副専攻——社会がかかえる問題の解決に向けて、専門を生かすための土台をつくる

本学は、リベラルアーツ教育として、基礎教養科目と発展教養科目を必須科目とし、専門を学ぶ上での基礎を築きます。社会的実践力副専攻では、社会や時代の変化に伴う課題を見極め、課題解決のために行動することの重要性を学びます。

東海大学が育成する4つの力=「社会的実践力」

自ら考える力

集い力

挑み力

成し遂げ力

学部学科・センター等の教育

発展教養科目
シティズンシップ、ボランティア、地域理解
専門教育
社会的実践力副専攻
プロジェクト実践、コーチング実践、パブリックスキル、パブリックワーク

東海大学PA型教育

Public Achievement (PA) 型教育とは、学生に社会の構成員であるという自覚を促し、社会の課題解決に関わろうとする行動力を育成する実践的教育。

学生生活における学び

チャレンジプロジェクト
個々学生による活動
クラブ・サークル活動
インターンシップ 等

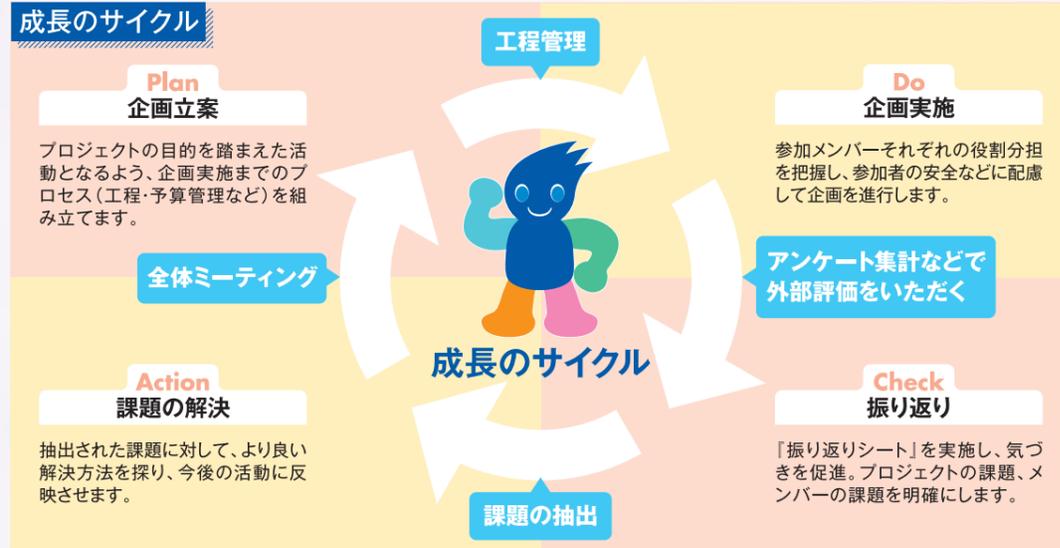
卒業生からのメッセージ

自ら考える力・集い力・挑み力・成し遂げ力を身につけ、
社会で活躍する先輩たち

活動を通して、4つの力を確実に身につけます!

プロジェクトの流れ

「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」を確実に自分の力にするために、
1年間で数回にわたりプロジェクトを振り返るための場が用意されています。



1年間の流れ



困難を乗り越えた体験は 将来絶対、武器になります。

一番記憶に残っているのは、地域活性を目的とした学生や地域をつなぐ情報誌、「ThLive!(スライブ)」の創刊号の制作です。チャレンジセンターの開設時だったので、全てが手探り状態ながらも、仲間、教職員、地域の方々に支えられたおかげで、発行することができました。いま思い返すと、何も経験のない学生が作った情報誌によく広告協賛がいただけたと思います…。

プロジェクト活動は、サークルや同好会とは違い、全てが楽しいことをやるわけではありません。当時は、学生なのになんでこんな大変なことやっていると、思うこともありましたが、振り返るとその経験は、いまの仕事に活かしているかなと感じます。

自分は何をやりたいか?を仲間と共有し、コーディネーターの手を借りながらどうしたら実現できるか?を全力で考えてみてください。その企画が成功した時の喜び、経験は将来絶対みなさんの武器になります。



お台場のテレビ局で勤務中の曾根さん

キャンパスストリートプロジェクト 曾根 勝さん
教養学部人間環境学科 2007年度卒業
株式会社BSフジ勤務



手掛けた「ThLive!」を手にメンバーと

チャレセンで培った企画力、忍耐力、 応用力は今の仕事に役立っています。

チャレンジセンターが開設された初年度でしたので、プロジェクト活動のことが全く認知されておらず、参加者50名を集めることがとにかく大変でした。プロジェクトでは身近な環境問題に取り組むエコ活動を行っていたのですが、学祭で行ったゴミステーション(分別場所)の設置で努力賞を受賞。活動に評価をいただけたのは嬉しかったです。

普段意識していないことに注目してもらうための企画力、一回の改善活動では解決されない多くの問題に腰を据えて取り組む忍耐力、メンバーとの摩擦も無駄にしない応用力は今の仕事に役立っていると感じています。

プロジェクトに参加しただけで満足せず、他のプロジェクトを覗いたり、他大学を視察したり、職員さんにつぶかってみたり、枠にとらわれず行動することで得られることは更に増えます。受け身ではもったいないですよ。

Green Communications プロジェクトリーダー 飯田 恒平さん
文学部アジア文明学科 2007年度卒業
株式会社LAUGHTECH セールスマネージャー



オフィスで打ち合わせ中の飯田さん



地域の祭りにゴミステーションを設置しエコ活動